

平成31年度 和歌山市立宮北小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 道本 美月

作成日 平成31年4月24日

和歌山市学校教育指針

- ・確かな学力の育成
- ・道徳教育の充実
- ・健やかな体の育成
- ・特別支援教育の推進
- ・不登校・いじめ問題の解消
- ・子どもの安全確保の徹底
- ・地域と共にある学校づくりの推進

【学 校 教 育 目 標】

心身ともに健やかで、たくましく生きる子供の育成

【めざす児童（生徒）像】

- ・よく考え、自分で判断できる子
- ・心豊かでやさしい子
- ・心身ともにたくましい子

前年度の学校評価

- ・地域との連携がよく図られている
- ・授業改善に取り組んでいる
- ・情報モラル教育の充実を図って欲しい
- ・学校で行われている「人権教育」や「安全教育」がわかりにくい

児童（生徒）の実態

- ・素直でやさしい子供が多い
- ・清掃や仕事に真面目に取り組む
- ・地域とのかかわりを大切にしている
- ・個別の支援が必要な子供が多い
- ・自主性にやや欠ける

保護者・地域の願い

- ・あいさつのできる子
- ・宮北地区を愛する子・誇りに思う子
- ・幼保連携・小中連携の推進
- ・学校からの積極的な情報発信
- ・読書に親しめる環境の充実
- ・学校の実態に応じた学力・体力の向上

重点目標

確かな学力の向上

- ◎教員の指導力の向上
- ◎子供同士の学び合いの充実
- ・家庭学習の充実
- ・補充学習の充実
- ・個のニーズに応じた学力の充実

豊かな心の育成

- ◎道徳教育・人権教育の充実
- ◎「全校活動」を通じた仲間作り
- ・読書活動の推進
- ・「宮北立腰」の推進

健やかな体の育成

- ◎持久力・体力向上の推進
- ・「全校活動」を通じた基礎体力の充実
- ・「歯ブラシ指導」と「睡眠教育」の推進

地域とともにある学校

- ◎学校からの積極的な情報発信
- ◎幼保連携・小中連携の推進
- ・地域を愛する子供の育成
- ・地域行事への積極的な参加・協力

具体的な取組

- ・生活科、理科を核とした授業研究の充実
- ・発達段階に応じて、6年間を通じた「聞く・話す」力の育成
- ・学びタイムの充実
- ・学力テストの結果を踏まえた授業改善の取組
- ・個別の支援を必要とする子供の実態を全職員で共通理解し、必要に応じた支援

- ・「考え、議論する道徳」の授業を実践できるように教員研修を行う
- ・学びの充実と子供たちの居場所づくりをめざした、温かみのある学級経営に取組む
- ・「全校活動」を通じたリーダー育成と仲間意識の醸造を図る
- ・学校・家庭での読書量を増やすための環境作りに努める
- ・人権擁護委員会による「人権出前授業」の実施(3・4年)
- ・スマホモラル出前授業(5・6年)

- ・スポーツテストを活用し、子供たちの体力作りの意識を高める
- ・「全校活動」で基礎体力作りに繋がる活動を採り入れる
- ・保健指導における歯ブラシ指導の充実を図る
- ・スマホや通塾による睡眠の減少を軽減する取組みをする

- ・教育活動の概要や子供たちの様子を学校だより、HPで積極的に発信する
- ・校区の宮北保育所、日進中学校との連携を図る
- ・元気のよい大きな声で挨拶できる子供の育成に取組む
- ・地域防災訓練等への参加協力

指標

- ・全国学力・学習状況調査、県学習到達度テストの正答数が県平均を上回る
- ・「わかる授業・子供主体の授業を実践したと思う」(児童・教員90%)

- ・道徳科の振り返りやポートフォリオの作成
- ・「学校が楽しい」と感じる(児童90%)

- ・スポーツテストの結果が全てにおいて県平均を上回る
- ・食後の歯磨きチェックを徹底する

- ・「学校の様子がよく伝わった」(保護者90%)

◎：特に重点的に取り組むこと